

令和元年度 第2回秦野市コンプライアンス推進委員会結果概要

1 開催日時	令和元年5月24日(金) 午後2時50分から午後3時25分まで	
2 開催場所	秦野市役所本庁舎3階 3A会議室	
3 出席者	委員	宮村副市長〔委員長〕、高村副市長〔副委員長〕、政策部長、総務部長、くらし安心部長(代理)、文化スポーツ部長、福祉部長、こども健康部長、環境産業部長、都市部長、建設部長、会計管理者(代理)、上下水道局長、議会局長(代理)、監査事務局長、教育部長、消防長
	事務局	文書法制課長、文書法制課課長代理(コンプライアンス推進担当)、人事課長
4 議題	1 議事 コンプライアンス推進に係る令和元年度の取組について 2 報告事項 (1) 後期高齢者一日人間ドック利用券の記載内容の誤りについて (2) 障害者施設等通所交通費助成の未払いについて	
5 配付資料	次第	

6 会議概要

(1) 議事

コンプライアンス推進に係る令和元年度の取組について

【報告】資料に基づき報告(事務局)

【質疑、意見等】なし(原案のとおり進めることでした承)

(2) 報告

ア 後期高齢者一日人間ドック利用券の記載内容の誤りについて

【報告】資料に基づき報告(福祉部長)

【質疑、意見等】

- ・ 出力後の利用券の確認はしていなかったのか。
→ リストの最初と最後を抽出して確認していたが、抽出せずに確認を怠った部分で誤りがあったもの。
- ・ この事務を担当するのは何人か。また、例年同様の事務か。
→ 担当としては1名。毎年、ローテーションで換えている。誕生日を印字するのは、今回が初めての試みであった。
- ・ 本事案については調査部会を設置せず、本報告をもって終結とする。

イ 障害者施設等通所交通費助成の未払いについて

【報告】資料に基づき報告（福祉部長）

【質疑、意見等】

- ・ 「障害者総合支援システム」は担当課の独自システムか。
→ 担当課のみの独自システムである。移行の際に読み込んだエクセルデータからも漏れていた。
- ・ 通所施設からの報告や連絡体制が整っていれば防止できたのか。
→ 施設側とは、これまで対象者の交通費に係る情報共有がなかった。施設との連携は重要であるとする。
- ・ 追加支給額は交通費の実費相当分か。
→ その額で相手も了承いただいている。
- ・ 対象者がリストから抜け落ちていたという認識はあったか。
→ 施設からの日数報告書には、通所実績にかかわらず、全員の氏名が載っている。その月に通所せず、交通費の支払いがない方も「0日」として記載されている。リスト自体に氏名が無いという認識には至らなかった。報告書の形式を改める必要があると考えている。
- ・ 本事案については調査部会を設置せず、本報告をもって終結とするが、助成事業は全庁的に行われている。改めて、各部で事務点検をしていただきたい。